

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 殿

福岡県病虫害防除所長

平成25年度病虫害発生予察注意報第1号について

注意報 第1号

このことについて、病虫害発生予察注意報第1号（カンザワハダニ）を発表したので、送付します。乾燥した天候が続いたため、山間地の茶園を中心にカンザワハダニが多発しています。

梅雨に入り、今後は急激に増加しないと考えられますが、5月下旬の発生虫数が平年よりも非常に多いので、早急な防除の徹底について指導願います。

茶

- 1 病虫害名：カンザワハダニ
- 2 発生地域：県下全域
- 3 発生時期：早
- 4 発生量：多
- 5 注意報の根拠

(1) 5月5半旬の県下18か所の茶園における調査の結果、寄生葉率、50葉当たり虫数、発生ほ場率とも、平年より非常に高かった（表1）。

寄生葉率 18.3% (平年 3.0%、前年 1.9%)
50葉当たり虫数 63.5頭 (平年 3.6頭、前年 1.2頭)
発生ほ場率 77.8% (平年 43.0%、前年 37.5%)

表1 本年の平坦地と山間地におけるカンザワハダニの発生状況

	5月2半旬		5月5半旬	
	寄生葉率(%)	50葉当たり虫数(頭)	寄生葉率(%)	50葉当たり虫数(頭)
平坦地(8か所平均)	3.5	6.6	9.8	33.5
山間地(10か所平均)	11.3	27.6	25.2	87.5

(2) 向こう1か月の気象予報（5月24日付福岡管区气象台発表）では、気温は平年より高く、降水量は平年並か多いとされている。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 発生状況をよく観察し、寄生葉率が2%以上の茶園では、速やかに防除を行う。
- (2) 整枝による耕種的防除を併せて行う。
- (3) 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を避け、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。
- (4) 多発園では、発生が減少しても乾燥が続く場合、8月中～下旬から再び増加する可能性があるため、秋季防除についても徹底する。